

学校経営方針

学校教育目標

ふるさとに誇りを持ち、自分もみんなも大切にできる児童の育成
～明るく・仲よく・元気よく～

めざす姿

<めざす学校像> ～笑顔と感動があふれ、活力があり信頼される学校～
○すべての子どもが、心身の安全・安心を実感できる学校（生命・安全）
○すべての子どもが、自ら学び続けられる学校（自己実現）
○すべての子どもが、ともに学び高め合える学校（共生）

<めざす児童像> ～輝く児童～

- | | |
|--------------------|---------|
| (ひ) 一人一人を大切に | (自他の尊重) |
| (が) がんばりぬこう最後まで | (継続・不屈) |
| (し) しっかりつなごうみんなの手 | (協力・仲間) |
| (の) のぞみ大きくめあてにむかって | (夢・目標) |
| (こ) こころやさしい東の子 | (優しい心) |

※学年目標・学級経営に反映させる

<めざす教師像> ～学び続ける魅力ある教師～

- 使命感、教育愛に満ち、一人一人の思いに寄り添える教師
- 危機意識を高く持ち続け、情報共有をしながら小さな事案も疎かにしない教師
- 高い専門性と指導力を持ち、わかりやすい授業を積み上げていける教師
- 柔軟に対応し、知恵を出し合い工夫しながら協働できる教師
- 児童・保護者・地域から信頼される教師

経営方針

- 安全・安心な環境を確保し「信頼される学校づくり」に取り組む
- 積み上げてきた人権尊重の精神を基盤に「心の教育」を充実する
- 基礎基本の定着と学びに向かう意欲を大切に「確かな学力」を育む
- 保護者や地域の声に傾聴し、連携・協働しながら「開かれた学校づくり」を推進する

重点目標

自分を信じ、夢・目標実現への道を切り拓く力の育成

(1) 「確かな学力」の育成（つづり・みつめ・たかめる）

～主体的・対話的で深い学びの実現（選び、判断し、考え、決定できる）～

- ① 自分に最適な学び方を選択できる判断力を育てる
- ② 自分の学び方を調整できる自己調整力を育てる
- ③ 自ら学習内容を問い直せる批判的思考力を育てる
- ④ 合理的配慮を意識した組織的な指導を行う
- ⑤ 自ら決定できる機会を設定し自己効力感を育てる

重点目標

- (2) 「豊かな心」の育成
 - ① 他者とともに学べる、思いやりのある集団をめざす
 - ② 人権教育・道徳教育の充実、深化を図る
 - ③ 異なる意見を取り入れる意欲・態度を育てる（よく聴いてもらい、認められることで自己肯定感を高めさせる）
 - ④ キャリア教育や様々な体験活動を推進する（本物との出会い）
- (3) 「健やかな体」の育成
 - ① 正しい知識を身に付け、自分の命を自分で守る力を育てる
 - ② 基本的な生活習慣の確立・食育の組織的計画的な推進
 - ③ 体力向上の目標に向かって挑戦し、最後までやり抜く態度の育成
 - ④ 防災・安全教育の推進
- (4) 特別支援教育の充実
 - ① 教育的ニーズを把握し、個に応じたきめこまやかな指導・支援体制を充実させる
 - ② 関係機関との連携を図る
- (5) 児童の学びを支える仕組みの確立
 - ① 学校の組織力、教職員の資質能力の向上
 - ② 教職員の協働体制・学校評価による効率的な学校運営
 - ③ 不登校・いじめの未然防止・早期発見・早期対応できる組織の確立
 - ④ 専門性と実践的指導力の向上
 - ⑤ 学校・家庭・地域の連携強化と一体的な指導

努力事項

- 情報共有をし、協働体制の確立を図る。
- 安全安心な学校づくり(すべての子どもが安心して通える学校)
- 落ち着いて学習できる学校づくり(すべての子どもの学習権の尊重)
- 1つ1つのルールを遵守する集団づくり
- 互いを認め合う集団づくり
- 望ましい方向を自ら選択する集団づくり
- 正しい事、がんばった事をほめる指導・支援体制の構築
- 個に応じた言葉かけ等、児童に寄り添う支援体制の構築
- 教材教具の工夫し分かる授業・魅力ある授業の創造
- 掲示物・机・いす等の環境整備(セキュリティの強化)
- 学校創立 151 年の伝統を大切にする(地域学習を教育課程にいかす)
- 学校の姿が保護者や地域に見えるようにし、児童及び保護者、地域との信頼関係の確立を図る。
- 会議（各種委員会）は、ねらいを明確にし、短時間で計画的・効率的に行う。基本、職員終礼15時40分から開始し、10分以内とする。
- 定時退勤日は毎週金曜日と定め、勤務時間終了後、一斉退勤する。(時間管理)記録簿は毎日退勤時に記入し、勤務時間を意識して業務終了時刻を設定する。